

◆7月7日は箱根浅間山(802m)に9人で挑みました。箱根登山鉄道小涌谷駅に集合、コンクリート舗装を登り千条の滝に到着し最初の小休憩と記念撮影、緩やかな登山道を進み箱根浅間山山頂手前に到着、昼食休憩、その後5分程で山頂に着く、証拠写真撮影後下山開始、始めは緩やか下り坂で数少ない花を眺めながら進むがさすがに梅雨期道が滑りやすく転ばないように慎重に下り空の上大平台分岐・湯坂城跡を経て予定より1時間遅く箱根湯本駅に着いた。今回の山行はあいにくの曇りでおまけに蒸し暑く眺望もなく残念な山行となった。



千条の滝

◆9月15日は相模原市の峰山(570m)に5人で挑みました。JR中央本線藤野駅に集合、やまなみ温泉行のバスで終点到着。バス停からすぐ登山口があるが登山開始は結構な急坂でいつもより早めに給水タイム、その後は緩やかな登りがつづくが台風で折れた枝葉や蜘蛛の巣を払いながら2回目の小休憩、急坂があると事なので気合を入れて進む、滑りやすく斜度もあり難儀な坂ではあったが思ったより簡単に頂上に着いた。コースタイム通りに僅か1時間の行程です。暫し周りの山並みを眺めるが、あいにくの曇で富士山は隠れていた。このあと温泉入浴後の反省会があるので軽い昼食を取り、証拠写真後下山開始、急坂の下り避けたいとのみんなの思いでまき道をチョイスしたが、どうも迷ってしまったようで、1時間半も歩いてバス通りに出たらバスの運転手が、「乗りますか」と声をかけてくれたので「やまなみ温泉いきますか」と聞くのと返事、ラッキーでした。やまなみ温泉は人気の温泉らしく混み合っている。待望の生ビールでゆっくり休んで帰途についた。



峰山山頂

◆11月10日は甲州高尾山(1109m)に4人で登りました。JR中央本線勝沼ぶどう郷駅に集合、タクシーで登山口の大滝不動尊奥の院に到着、長くて急な石段を登ると見事な滝を望む、地元の人にルートを教えてもらい登山開始。初めは歩きやすいが、今年猛威をふるった台風の影響で多くの倒木、土砂崩れがあり難渋した。展望台で小休憩後棚横手山と甲州高尾山の分岐に到着、ここで外人女性を含むグループに会い、富士見台から来たとのことで我々も行って見ることに、緩い登りを登りきると眺望がひらける、正面に富士山、右手に八ヶ岳遠望と素晴らしい。さあ次は棚横手山へ・・・しかし急な下り坂の後登り返しに少しびりり昼食の時間なのでバス。分岐まで戻りピークらしきところで写真を撮り昼食にするがここには山頂の印が無い、なんか変だと思いつつ下山開始で登り返したピークに甲州高尾山1109mとあった。その次のピーク甲州高尾山剣ヶ峰の標識が



不動滝

あるがとても剣ヶ峰とは言い難い。下りは舗装された林道を1時間歩き大滝不動尊奥の院に到着、タクシーを呼びぶどうの丘入口にある販売店で各自お土産のぶどうを買求めお店の人に駅まで送っていただいた。今回の山行は晴天であったが結構汗をかいた山行となった。

◆12月8日の忘年山行は上野原市の要害山(536m)に9人で登りました。JR中央本線上野原駅に集合、富士急バスで登山口の尾続(おづく)バス停に到着、我々の他に10人程のハイカーも降りた。山ガール(?)達の準備体操を尻目に道標に沿って民家の間を登ると登山道がありつづら折りの急坂で息を切らせ途中2度の小休憩後尾続山頂(538m)に着いた予定より15分早かった。実成山(みなしやま)600m、コヤシロ山(600m)と順調に進んで来たので昼食は見晴らしの良い風の神様で昼食、後続の女性グループが来たので場所をあけ渡しかなり急坂の下りを要害山に向かう、要害山(536m)到着、ここは平で広々とした山頂に加え眺望が素晴らしい。帰りのバスの時間までかなりあるので鏡渡橋バス停の一つ先の新井まで行く事にした。ラッキーなことに10分待ちで乗車できた。途中八王子駅構内にある蕎麦屋で今年の山行の打ち上げを軽く行い散会した。今回の山行は晴天に恵まれた、5カ所のこぶを越える縦走となり皆さん年を痛感した山行となった。



要害山山頂

◆令和2年1月11日の新年山行は相模原市の生藤山(950m)に3人で登りました。JR中央本線上野原駅に集合、富士急バスで登山口近くの井戸バス停に到着、我々の他には1人だけのハイカーが降りた。民家の間を登ると登山口のある軍刀利神社前鳥居に到着、急な長い階段を避けて左手の坂から神社の裏手に着く、しかしこの選択が大失敗でこのあとの苦闘が待っている。大きな石のゴロゴロした潤れ沢と滑りやすい急坂の上りを息を切らせとにかく尾根を目指すことにした。すこし平らな場所があったので昼食にした、すでに13時を過ぎていた。道なき道を登りつづけること約1時間、熊倉山山頂(966m)についた。地図を広げ場所を確認すると目的の三国山の西側1.1Kmであることが分かった。このあとは急坂の下りと登り返しを繰り返して三国山(960m)生藤山(990m)に辿り着いた、目標より3時間も多すぎた山行であった。このあと下りバス停のある石盾尾神社に着いたが次のバスは50分後なので、少し歩いて民家で植木の手入れをしていた男性にお願いしタクシーを呼んでもらい上野原駅まで辿り着き電車乗ることができた。今回の山行はもっと慎重に登山地図と道標を確認すべきだと反省させられる山行となった。



生藤山山頂

◆令和2年2月23日の山行は上野原市の不老山(839m)に3人で登りました。この山は昨年12月8日に登った要害山の西隣にあり眼下に中央ハイウェイを望めます。JR中央本線上野原駅に集合、富士急バスで登山口の不老下バス停に到着、我々の他には1人の

ハイカーもいない。道標に沿って民家の庭の紅梅・白梅を眺めながらコンクリート舗装を登ると登山口がありつづら折りだらけの急坂を1時間程歩を進めるとやっと1人の男性ハイカーに出会う、「あとのくらい?」と聞いたら「少しありますね」、ところが少しどころかきつい登りを1時間かかってやっと山頂に到着、幸い2人の高齢山ガールがいたので早速証拠写真の撮影をお願いし、15分で昼食をすます。帰りのバスが14:17でそのあとは16時台までないので飛ばしに飛ばして不老下バス停に着いた。あとはお楽しみの秋山温泉に上野原駅前からタクシーで温泉へ、ゆっくりと入浴後反省会、大満足。今回の山行は晴天に恵まれ富士山や周りの眺望がすばらしく思い出に残る山行となった。



不老山からの富士山

◆3月

29日に予定の神奈川県松田町にある蝸梅とすだれ桜で人気のシダゴ山は新型コロナウイルスによる東京都知事の外出自粛要請と降雪予報で止む無く中止、「まってるシダゴ山」

ハイキング同好会

代表 奥山 悦(昭和41年工業化学科卒)

携帯:090-5771-1743

E-mail: okuyama.kou@mx5.ttcn.ne.jp

事務局 嵯峨 良平(昭和43年電気科卒)

携帯:080-1282-9458

E-mail: saga_ryohei@ybb.ne.jp

総合建設業
TA 伊藤工業株式会社



本社認証取得

代表取締役社長 伊藤 満 (昭和54年土木科卒)

本社 〒010-1221 秋田市雄和平沢字舟津田78-1
TEL. 018-886-2135 FAX. 018-886-2749
E-mail. info@ito-kogyo.jp
URL. http://www.ito-kogyo.jp/

